



1.フローリング(フローリング・縁甲板)

日常のお手入れ

- 板張りの床は水が大敵。日常のお手入れは、なるべく水を使わないことが基本です。やむを得ず濡れた雑巾などを使った場合は、しっかりと乾拭きをしてください。
- 大きなごみやホコリは、ほうきや掃除機で取り除きます。掃除機等で取り除けなかった小さなホコリや細かな汚れは乾拭きしましょう。さらに念入りに行いたい場合は市販の床用お掃除シートなどで拭き取ります。
- 水やしょうゆなどをこぼしたときは、すぐに拭き取るようにしましょう。その際は念入りに乾拭きを行ってください。



※木質床材の板と板の継ぎ目の部分や、表面塗装が劣化した部分から水がしみ込むと表面材の割れや剥がれが発生します。乾いた雑巾などですぐに拭き取りましょう。

- 乾拭きしても落ちない汚れは、水で濡らし固く絞った雑巾で拭き取り、きれいになったら、乾いた布で水分を十分に拭き取ります。さらに落ちにくい汚れには、住宅用洗剤(木質床材に使用できるもの)を薄めた液で濡らした雑巾を固く絞って拭き取ります。この場合も汚れが落ちた後、乾いた布で水分を十分に拭き取ります。



※汚れ取りには、シンナー、除光液、塩素系洗剤、酸素系洗剤を使用しないでください。(色落ちの原因となります。)

<メンテナンスフリーのフローリング>

メンテナンスフリーのフローリングは、基本的にワックスがけは不要ですが、ご希望によりワックスがけをする場合には、フローリングの取扱説明書をご確認の上、指定のワックスを使用するようにしてください。

補修方法



小さい切りキズや引っかけキズ	同色のマジックペン等を塗ってからワックスで磨きます。市販のフローリング用キズ補修クレヨンなどを使ってもよいでしょう。
床のへこみ・そり 床鳴りがする、きしむ	縁甲板など無垢の単一材を使用したものは、そりが生じてもわずかであれば問題ありません。その他の場合は、当社にご相談ください。

注意

- 熱いものを直接、置かないようにしましょう。
- 電気カーペットを敷く場合には、床材の劣化を抑えるため、断熱性のある専用シートを下に敷いてお使いください。
- 木材は重い家具などの重量が1点に集中すると、その部分がへこんでしまいます。ピアノなど重いものの脚部には、小さな板などを敷き、重量を分散させるようにしましょう。
- 床材にキズが付くのを防ぐために、イスの足などには保護カバーやフェルトキャップを付けましょう。

2.たたみ

日常のお手入れ

- たたみは直射日光にさらされると黄色く変色するので注意が必要です。さらに、カーペットを上に乗くと、たたみが蒸れてダニやカビが発生する原因となり、衛生面から見て望ましくありません。
- たたみの目はホコリがたまりやすいので、掃除機やほうきで毎日掃除しましょう。その際、たたみを傷めないように目に沿って掃除機やほうきを動かしましょう。さらに念入りにホコリを取り除きたい場合は、乾拭きをするときれいになります。
- 掃除機でも、乾拭きでも目にホコリが残ってしまう場合は、お湯で固く絞った雑巾で拭くときれいになります。ぬるま湯で薄めた住居用洗剤を固く絞った布で拭くとさらにきれいになります。たたみは湿気を嫌うためお掃除の最後にはしっかりと乾拭きを行ってください。



※拭き掃除の際も、掃除機やほうきと同様にたたみの目に沿って行ってください。

<エコクリーニング>

ほうきで掃除をするときに、しっかりと絞ったお茶の葉をまいて一緒に掃くと、目の中の細かなホコリがよくとれます。掃いた後は、乾いた布雑巾で拭くこともお忘れなく。

住居用洗剤を薄めて拭く代わりに、酢水(酢 1:水 4)で拭いてもきれいになります。酢水の場合、たたみの日焼けを少し遅らせる効果もあります。

たたみ干し

- 昔は大掃除の風物詩でもあった、たたみ干しですが、最近は干す場所が少ないせいかめっきり見かけなくなりました。たたみを干す場所がなくても、たたみを上げて、下にビンや缶などを置き、たたみの裏に空気を通すだけでも効果があります。

補修方法



シミ	塩素系漂白剤を水で薄めて綿棒でシミ部分に塗ると、数分で脱色されてきれいになります。 ※漂白剤の濃度が高すぎるとたたみの青さまで漂白してしまうのでご注意ください。
醤油・油などをこぼした時	粉末の洗剤・クレンザーをふりかけ、十分に液体を吸い取らせた後、掃除機で処理して、固く絞った布で何度も拭きます。最後に乾拭きをしっかりとします。
クレヨンがついた時	ごく少量のクリームクレンザーを乾いた布に付け、たたみを傷めないように丁寧にこすります。
フェルトペンがついた時	油性の場合はラッカー薄め液(マニキュアの除光液でも可)で拭き取ります。 水性の場合はクリームクレンザーで拭き取ります。
へこみ	へこんだ部分に濡れたタオルを当て、アイロンをかけて直します。 へこみかもどったらドライヤーなどで十分に乾かしてください。
小さな焼けコゲ	消毒液をたっぷり含ませたタオルなどで、たたきながら脱色します。
縁の汚れ	① 古い歯ブラシに、水で薄めた中性洗剤を付けて軽くこすります。 ② 蒸したタオルでたたいて乾拭きします。
カビ	たたみ干しをして湿気を取った後、消毒用アルコールを布にしみ込ませ、カビを拭き取ってから掃除機で吸い取り、風を通して乾燥させます。必ずマスクとゴム手袋を付けて行います。
ペットの尿	塩やクレンザーをたっぷりかけ、水分を吸わせてから掃除機で吸い取ります。中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水分を拭き取ります。

